

今、修了証を渡した各学年各学級の代表のみなさん。おそらく、各学級を代表するにふさわしい人が出てきてくれたのだと思います。ピシッと伸びた姿勢、引き締まった表情、素晴らしかったです。もちろん、他にもふさわしい人はたくさんいたのだと思います。ぜひ、次の場面で前へ出てきてください。こんな風に、4月へ、そして次の学年へとつながっていくんだなと感じています。

3年生が巣立ってからもう1週間経ちました。たった60人がいないだけなのに、校舎内が、どこか寂し気です。それだけ上級生の存在って、大きなものなのですね。

さて、卒業式では、みなさんの素敵なおところにも心を動かされました。それは、歌声です。

予餞会でも、1年生、2年生、それぞれが頑張っているなあと思って見ていました。みんなの前に立ち、たくさんの人を動かしてくれた人、今までやったことのない係に挑戦した人、勇気を振り絞ってステージに飛び出した人…。一人一人の強い思いが、お互いに響き、3年生にも伝わっていたようでした。

しかし、卒業式はそれ以上でした。卒業していく3年生の思いに込めて、一生懸命歌う1、2年生の歌声、そして表情、身体の動き、すべてが「わたしたちは大丈夫です。城端中学校のことは任せてください。」と語っているようでした。来年も城端中学校は大丈夫だな、いや、もっともっと力があるな、と感じました。もっている力は、出さなかったら、やがて廃れていきますが、全て出していけば、さらに大きな力へと成長していきます。

4月から、1年生は先輩に、2年生は最上級生になります。明日からの春休みは、それぞれ考えて、新年度の準備をしてください。繰り返しますが、「命」を含め「自分」を、そして「周りの人」を大事に過ごしてもらいたいです。それぞれ心配なこともあるかもしれませんが、大丈夫です。元気に出てきてください。みんなの少し成長した姿を楽しみに待っています。